



通級指導教室の拡充などを協議 根室市総合教育会議

11月26日、根室市は「総合教育会議」を開催し、市長と教育委員会が教育行政の施策について議論を交わしました。

2021年度の光洋中学校と啓雲中学校の統合に向けた準備状況や、2020年度から歯舞小・中学校を義務教育学校「歯舞学園」とすること、さらに歯舞学園で2021年度からコミュニティ・スクールを導入すること等が協議されていました。

また、胎児に読み聞かせを行えるように幼児用の本を妊婦に贈呈する「マタニティブック事業」を新たに計画していることが報告されました。

市内の小中学校で、普通学級に在籍する児童のうち何らかの支援を必要とする子が増加を続けており、全体の2割近いそうです。

このため、市の教育委員会は花咲小の通級指導教室（現在48名在籍）を拡充するため、2020年度に成央小、2021年度に北斗小に通級指導教室を新しく開設する方針を明らかにしました。

さらに道の教育委員会に対して、花咲港小の空き教室を活用して、新たに特別支援学校の分校・分教室の併設を誘致する活動を行うっていく考えを示しました。

根室管内の1市4町でつくる北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会（北隣協）が主催しているもので、戦後60年目にはじまって今年で14回目の開催とのことです。

昨年は日口首脳会談を前に刺激しないようにという配慮なのか、タスキやハチマキを使用せず、「領土を返せ！」を封印していました。

結局その後の領土交渉は何の進展もなく、今年も「返せ！」の言葉が復活しましたが、全体的にコールは「平和条約を実現しよう」等の柔らかいイメージになっているように感じました。

出発式で元島民の決意表明として、「望郷の思い叶わず他界した多くの同胞たちの墓前に伝えるその日まで、返還要求の火を消すことなく、この無念の思いを希望に変え、皆様とともに北方領土早期解決の声を上げる」と述べられていましたが、その力強い迫力ある声が印象的でした。

このような元島民の方々の思いに寄り添った外交交渉を進めることを政府に強く求め、そのことを強力に後押しする国民世論を広げていく決意をあらたにしました。

12月1日、北方領土返還要求中央アピール行動が今年も開催されました。日比谷公園での出発式のあと、元島民ら返還運動関係者など約500名が「北方領土を返せ！」などとコールしながら都心周辺を行進し、道行く人々や全国各地に向けて、返還要求運動を盛り上げようと呼びかけました。

日本共産党根室市議団の一般質問の項目は次の通りです。

2019年12月10日(火) 2番目 橋本 竜一

- 子ども子育て支援の施策について
(1) 子ども・子育て支援事業計画の成果と今後の課題について
(2) 多様な保育ニーズへの対応について
(3) 子どもの貧困対策について
- 根室市の非正規職員の雇用のあり方について
- 市内の介護福祉に関する諸課題について
(1) 市内の介護ニーズの現状と課題について
(2) 高齢者の社会参加について
(3) 子ども達や若い世代の福祉への関わりについて
(4) 社会福祉法人以外の団体等による福祉施設整備等への補助について

2019年12月10日(火) 5番目 鈴木 一彦

- 領土問題について
(1) 「領土返還運動」に係る市長の政治姿勢について
(2) 「共同経済活動」について
- 当市の基幹産業の現状と対策について
- 当市の行財政の課題について
(1) 来年度予算について
(2) 市役所庁舎建て替えについて
- 子どもの学力について



根室市議会 12月定例会議の日程 一般質問の項目

根室市議会6月定例会議の日程は、次のとおりです。

- 12月10日(火) 10時00分～ 本会議 一般質問 7名
10日の2番目に橋本、5番目に鈴木が登壇予定。
- 12月11日(水) 10時00分～ 本会議 一般質問 5名
- 12月12日(木) 10時00分～
文教厚生常任委員会・産業経済常任委員会
※このほか、総務常任委員会も会期中に追加で提案される議案の審査が予定されています。
- 12月13日(金)
10時00分～ 予算審査特別委員会
16時30分～ 本会議(採決・人事案件・意見書案など)

ぜひ、この機会に議会へ傍聴におこしください!

